

# CVP コール スタジオ Web サービスのための TLS 1.2 サポートを有効にする手順

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[問題の要約](#)

[考えられる原因](#)

[推奨処置](#)

## 概要

この資料に Cisco カスタマ音声門脈 ( CVP ) コール スタジオ Web サービスの TLS 1.2 サポートを有効にする方法を記述されています。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CVP コール スタジオ
- Transport Layer Security ( TLS )
- Java Runtime Environment ( JRE )

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP サーバ 11.5
- CVP コール スタジオ 11.5

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 問題の要約

コール スタジオ Web サービス要素では、Web サービス サーバが TLS1.2 をサポートしても TLS 1.0 はネゴシエートされます。

### 考えられる原因

JRE 7 使用 TLS1.0 デフォルトで。

## 推奨処置

インストールして下さいパッチ CVP 10.5 を-ES24 ( 非難される ) および ES26、統一された CVP リリース 10.5、11.0 および 11.5 のための CVP 11.0-ES23、CVP 11.5-ES7 それぞれ。

このパッチは TLS 1.2 のためのコンテキストを設定するために Java を強制します従って CVP からのすべての発信 https 要求は TLS 1.2 を使用します。

注: 問題のために開くこの問題 [CSCvc39129was](#)。